

なにわ新聞ラリースペシャル きのくにラリー2012 —きのくには元気!—



RALLY MATE NANIWA TIMES SINCE 1991
 ナニワ新聞は、地道にJAF公認競技会に参加し、モータースポーツ文化の底辺を支える
 ナニワクラブ員の活躍を大袈裟に世の中へと伝えるものです。このラリースペシャル
 版は「きのくにラリー2012」のエントラントの熱い戦いぶりを関係者各所へ報告する
 と共に後世へ語り継ぐ記録として残すためのモノです。
 編集長/制作/発送: 畑中博 印刷部長: 川村治義 (番信印刷株式会社)
 製作部=592-0012 高石市西取石3-10-3 Tel: 090-3823-2588
 E-mail: cats77@cat.email.ne.jp Fax: 072-265-7622
 発行日 2013-2-1



めずらしく天気に恵まれた「きのくにラリー」は『きのくには元気!』とサブタイトルを付け、紀伊半島大水害の復旧復興を祈りつつ、開催された。災害復旧工事が続いている有田川町清水に集まったのは、遠くは埼玉県・神奈川県・静岡県・愛知県・岐阜県などからの参加を含み42台。

内訳は①シリーズを戦う総合クラスが23台、②ラリーコンピュータ装備のクローズドAクラスに4台、③コンピュータ無しのクローズドBクラスには11台、④新設の大学対抗クラスが4台と賑やかだ。クラスの関係でデッケン28・40・41は空きとなっています。

これが 軽トラックからランサーエボリューションまで 18才から65才まで ラリー初心者から全日本ラリーチャンピオンまで… アベレージラリーの楽しさだ!

22時01分、星空の下、スポーツパーク清水。デッケン1番/松岡陽一・松浦順子組の「軽モータースポーツカーVivio」は大勢が見送る中、松坂県議会議員の旗振りですスタートした。(ラリーは1分ごとに順次スタートします) 今回のきのくにラリーは、2011年の豪雨による被害跡を避けた手堅いコース設定で鈴木コース委員長の苦心の作だ。



総合クラス 優勝
田中・小川組 ダートおじさんランサー

競技車は指示書&ルートブックを頼りに花園美里トンネル手前を右折し旧道を上り、MCP (コンタクトポイント)まで40分以内での走行となる。MCP看板で各車、オフィシャルとの走行距離を補正し、どこに出現するか判らない1cp (ポイント)を指示速度35km/hで目指す。峠手前左折のコマ図を曲がった地点で1cpが待ち受ける。クローズドB (ラリーコンピュータ無し) クラスに「昭和の名車」KP61スターレットで参加の池田弘・寺岡浩二組は遅れて158点 (1秒が1点) の減点となった。1cpからは30km/hの指示速度で林道を走り、途中、パスコ (パスココントロール: 速度変更地点) で28km/hに、そして15km/hにと速度を落としつつ、岩坂観音方面へ左折、だらだと下り、競技無線 (モータースポーツ無線: MoSRAを運用) 中継所前を通過で2cpが出現。速度が低いためか早着 (正解通過時間より早く) 減点を受けるクルーが多かった。2cpからは、狭くて曲がりくねった鹿や兎がたびたび出没する林道を20km/hの速度で進み、下りきった所で3cpが待ち受ける。一本道でパスコも無しなので各車最小減点で通過した。途中災害復旧工事区間も抜け、時間走行で花園美里トンネル前までクルマを進め、暫しの時間調整した後32km/hの速度で旧道を上り、4cpは、なんと1cpとまったく同じ場所。総合 (JAF発給B級ライセンスが必要でシリーズポイントもある) クラスは順調に通過



梅津・嵩田組 電通大CR-Z

総合クラス 2位



クローズドAクラス 優勝
関口・野中組 TR-8ド・ノーマルランサー



クローズドAクラス 2位

吉村・蓑輪組
何が違う実は2台目ADSセリカ



松岡・松浦組
軽モータースポーツカーVivio

総合クラス 3位



クローズドAクラス 3位
堀内・生田組 豊田自動織機トレノ



谷内・太田組
11年目のキャッツファミリーASW

総合クラス 4位

するも、クローズドA (ラリーコンピュータ有り) クラスの吉村昂大・蓑輪信悟組のセリカが71秒の早着、クローズドBの大原聖基・大原永基組エスクードも340秒の早着だった。5cpの先、沼谷地区のコース脇では夜中にも関わらず、地元区長さん組を応援する人達が、ラリー車に手を振って地味なアベレージラリーを盛り上げてくれた。地区名看板やバス停で速度変更を繰り返して、スポーツパークに戻り、申告 (通過時間を自ら申告出来るチェック) の6cpでセクション1は終了。



カフェ・ハートがサービスしてくれた香り高い珈琲で眠気を吹き飛ばし一息つく。コントロールシート (チェック通過時間の正解と自車の通過時間の誤差減点を記入する用紙) の記入の仕方も教えてくれる親切カフェです。

セクション1のトップは減点20で長谷川秀夫・安村肇組FTOだが、1秒差で松岡・松浦組、谷内・太田組、梅津・嵩田組の3組が続く大接戦だ。クローズドAクラスでは神奈川県から参加の関口勝・野中俊輔組ランサーが減点33でトップ、2番手の堀内・生田組に25秒差をつけ余裕あり。クローズドBクラスでは、ナビナビコンビの中居肇・井口昌広組のトゥデイがラリーコンピュータが無いとは信じられない減点24という驚異的数字でダントツ1位。軽トラックで参加の岡・岸本組が109点で2位、優勝候補の杉谷・武田組は新車のパソで139点で3位につけている。大学対抗クラスでは軽トラの荷台に自動車部の旗を掲げて頑張る大阪府大の中嶋康裕・岡本友真組が70点で他を引き離して余裕の1位だ。



大学対抗クラス 優勝
中嶋・岡本組
GSR660きゃりーぱみゅぱみゅ



有川・藤嶋組
ダイハツDASH'大阪NRミラ

総合クラス 5位

クローズドAクラス 優勝



杉谷・武田組 珈琲300円アクエリアス☆パソ

クローズドBクラス 2位

夏目・安田組 ぎゃ様♡名オフェンズスカイライン



クローズドBクラス 3位

植野・中植組 ぬまたにKeiワークス



小笠原・松井組
親子井作るぞCATSミラージュ!

総合クラス 6位

深夜の休息を取った各競技車はセクション2へ。道路標識で速度変更しつつ、国道から岩坂観音方面へ左折する地点で上位2台がミスコース(本寨のルートから)。(はずれること)。中居・井口組トゥデイが659点、2番手の岡・岸本組キャリアも447点と7cpの減点が悔やまれる。ここでは、セクション1で1位だった長谷川・安村組も14点の減点を受けてしまった。地図4の7cpでは、チェック作業に気をとられたのか左に曲がるべき所を真つすぐ進んだクルマがあり、主催者側ミスコース対策の反省材料となった。岩坂観音前の8cpには、ミスコースで遅れ、大量減点を受けたクルーが数台出てしまった。9cpは各車無難にこなし、昼間なら美しい清水の名所である「あらぎ島」の展望所を真夜中の2時すぎに通過して清水森林組合前の10cpに到着。ゴールまで気を抜かない為に用意されたパスクンの目標物を探しつつ、ラリー車はスポーツパークに置かれたファイナルの11cpへと辿り着き競技は終了となる。

和歌山の山々で繰り広げられたドラマの結果は総合クラスが、なんと27点の同減点で4台が並んだ。そんな大接戦の中、ゼロ減点が一番多かった名古屋から参加の田中健三・小川博史組ランサーが優勝。2位、3位は減点の二乗差で勝負が決まり、梅津祐実・畠田浩一組CR-Zが2位、3位はヴィヴィオの松岡陽一・松浦順子組。同減点でもゼロ減点の数で谷内壽隆・太田一彦組ファミリアワゴンが4位となった。セクション1の12位から怒濤の追い上げで5位入賞を果たしたのは、ミラの有川和正・藤嶋義孝組で減点28…あと1秒少なかったラ優勝(?)だったのに。3台の同減点の中から、石塚・大田垣組、児玉・進組を抑えて「親子丼作るぞCATSミラージュ!」の小笠原孝・松井弘成組が6位入賞をもぎ取った。クローズドAは遠く神奈川県から参加の関口勝・野中俊輔組ランサーが優勝。2位にはセクション2で逆転の吉村昂大・蓑輪真悟組セリカ、3位に堀内秀也・生田慶祐組トレノが入賞した。クローズドBは手堅く走った杉谷仁・武田朗組新型パッソが優勝。2位には豊橋からスカイラインで参加の夏目裕貴・安田暢明組、地元の区長さん植野克己・中植正富組が沿道の応援をチカラに3位に入賞を果たした。今回から新設された大学対抗クラスは優勝のみの表彰、スズキキャリアで走った大阪府大の中嶋康裕・岡本友真組がぶっちぎり文句無しの優勝だった。

朝7時から朝食、表彰式は8時から。まず、申込一番賞はきのくにラリー定番「キリン一番絞り」と「サッポロ一番」のセットが10組に贈呈された。続いて競技長が用意した「日産賞」はスカイラインとマーチで参加の夏目、児玉両ドライバーに、技術委員長賞の「オイル」はKP61スターレットの池田ドライバーに、ナビゲーター賞は「きのくにラリーオリジナルペンケース」をゼロ区間の多いナビ9名に贈呈。入賞の皆さんには、紀州材を使った清水森林組合特製トロフィーが手渡された。最多エントリー賞は「エビスビール」。遠来賞は「紀州うめどり」。準遠来賞は浪速の中華そば「好きやねん」。最高齢者賞は「焼酎」と美味しいもの満載な表彰式だった。表彰式終了後、「うめたまごパック」に「トマト」がお土産として参加者全員に配られて、きのくにラリーは終了した。



優秀ナビゲーター賞 きのくにオリジナルペンケースです



最多エントリー賞
ラリーメイトクラブ和歌山には
エビスビール進呈



有田川町観光協会賞



レディース賞
みかんジュース&ひのきチップ枕で美しく♡



焼酎呑んで益々お元気で!
お二人とも
1947年生まれです



赤玉賞
ラリーコースで通ったあらぎ島のお米で作った純米酒



いろんな賞に、各所から多数ご提供いただきました。赤玉食堂から「純米酒あらぎしま」、『有田川町観光協会』から清水の特産品および和歌山名産「紀州うめどり・うめたまご」、親子丼を作るのに無くてはならない醤油は地元の『カネイワ醤油本店』から。ナニワクラブ員の『べじたふるふぁーむ北口園』からお米にトマト、それに、河島ナビ差し入れのミカンジュース。

『くららペーかりー』のパンはチキンサンドを作っては？。

神戸の作業所の皆さんが作った賞品について熱心に語るくららペーかりーの石倉さん



「派手なスタートでスミマセン…」と新子選手
「アホな後輩ですわん」と梅津選手



うめたまごとトマトをおみやげに家に帰ります
総合クラスクラス7位の石塚・太田垣組

くらら号 走る!

毎回賞品のパンを用意していただいているくららペーかりーの石倉泰三さん。今回、愛車のモータースポーツ用ランサーではなく、「カレンダーに載ると楽しいから」と普段営業に使っている軽パンの『くらら号』で参加。バナサスの中島由加里ナビを乗せて6位と健闘されました。ラリーのスタートでは娘さんの聡子さんがアナウンスを担当し、人手不足を補ってくれました。



編集後記

ラリーが終わって既に新年も2月。2013年のカレンダー用に先々行車を描き出したのが今年の11月6日、最後46台目の猫バスが仕上がったのは1月14日になっていました。そして新聞(古聞?)は、半年以上も昔のきのくにラリーを振り返りつつ制作するはめに、今年は両方とも年末までに「完成!」(^^)を目指します。でも参加台数が60台のフルグリッドになったらどうしよう…

きのくにラリーのイラストや参加者の声はWebSiteでご覧になれます



うめたまご



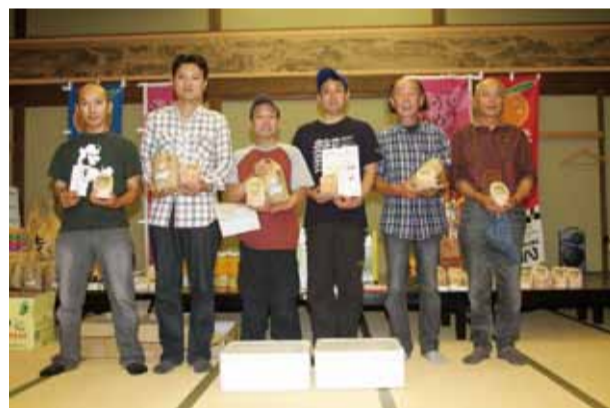
総合クラス/2位 優勝 3位
足元の発泡スチロールの箱には紀州うめどりが入ってます



総合クラス/4位 5位 6位



クローズドAクラス/2位 優勝 3位



クローズドBクラス/2位 優勝 3位